

# 令和6年度教育採用2次試験対策指導

前日7月27日（木）と8月3日（木）の2日間、「令和6年度教育採用2次試験対策指導」を行いました。当日は、木犀会会員6名が講師となり、2日間でのべ82名の受験生に「面接」と「模擬授業」の指導を行いました。

学生が受験する自治体は、宮崎県をはじめ、隣県の鹿児島県・大分県・熊本県・熊本市だけでなく、福岡市・山口県・兵庫県・大阪府・愛知県まで多くの県市にまたがっています。

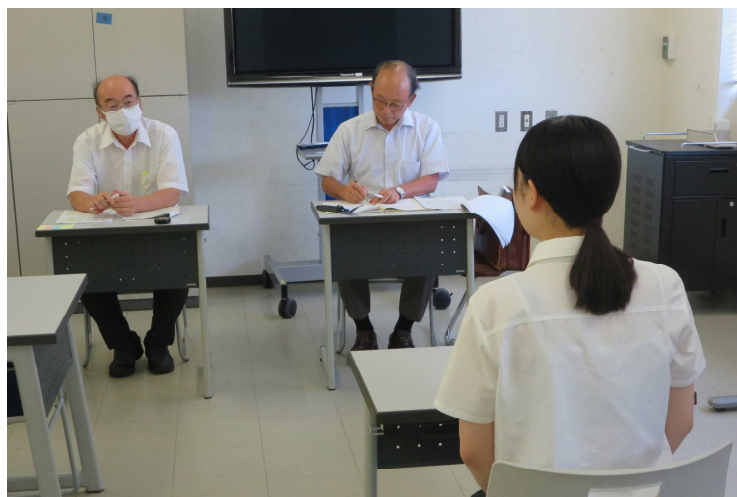
近年、学校が働き方や勤務の面でブラックとマスコミが報じており、教師不足が言われていますが、今年の受験生は昨年度比30%減だとそうです。県教委も結婚や諸事情で中途退職した教員や教員免許を持っている社会人に対して、現場復帰の対策をしているようですが、せっかく念願の教師となっても3年以内に離職する若い教師が増えているようで、学校現場でのフォローを密にして悩みを相談できる環境整備をする必要があります。

## 【指導スタッフ】



（左より、井上健次郎氏・橋本昭彦氏・高山秀典氏・宮原光秋氏・杉田茂延氏・吉永英美氏の指導スタッフ）

## 【面接の指導】





【 模擬授業 】



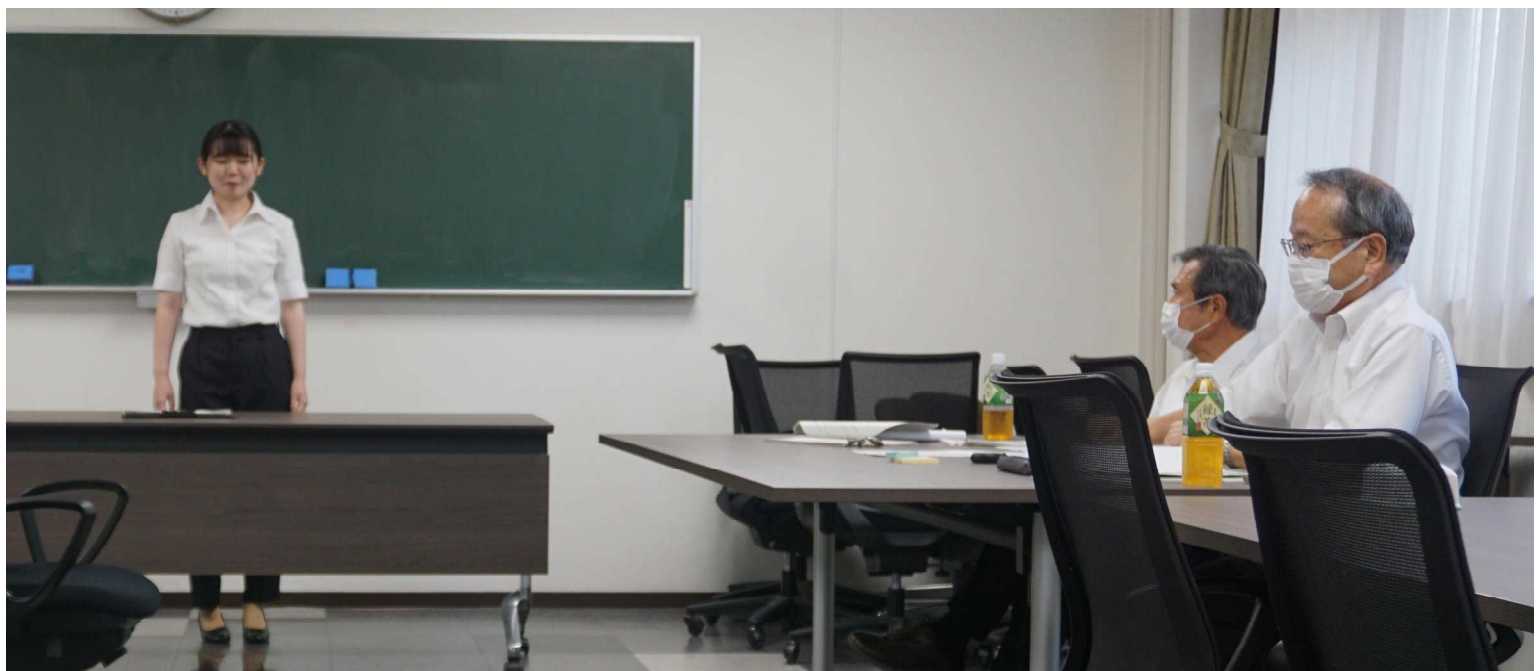
【 3年算数：分数のたし算のたし算の模擬授業 】

○問題文  
 ジュース1 $\frac{1}{5}$ と3 $\frac{2}{5}$ をあわせると何になるでしょう？

○場面授業のテーマは、課題をまず書き、解決への児童の活発な話し合いを促す授業です。

●指導内容

- ・ 課題は具体的に、児童の学習意欲を喚起する課題とすること、丁寧な板書を心がけること



## 【 学部への寄付 】

なお、指導の前に3年前から行っている「木犀会から困窮学生への寄付」を藤井学部長に手渡しました。

この寄付は、コロナ禍により「アルバイトができなくなって、生活用品を購入できない困窮学生が多くいる」ということを聞き、「卒業・修了祝賀式」の立食パーティの費用の一部を木犀会が補助していた分を、理事会で『学部学生に寄付したらどうか』との発案があり、3回目を迎えることになったものです。

コロナが第2類から第5類になって、日常を取り戻しつつある中ですが、現在でもコロナが流行しています。学生たちも3蜜を避けながらも、充実した学生生活を送ってほしいという木犀会からの願いで贈呈しています。



## 【 贈呈式の立ち会い 】

贈呈式の立ち会いに、宮原光秋氏と高山秀典氏にお願いをしました。

木犀会本部は予算編成に苦慮している中ですが、学生支援も大きなとして活動して参ります。応援をお願いします！